

# 読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

倉敷市立下津井中の2年生が、学校キャラクター「しもたこちゃん」のグッズを作りました。記事を読み質問に答えましょう。

## 下津井中の「しもたこちゃん」



「しもたこちゃん」の関連グッズをPRする下津井中の生徒たち

## 学校キャラで地域活性化

私たちの「推し」を地域を盛り上げるキャラに。下津井中(倉敷市下津井吹上)の2年生15人が、学校のキャラクター「しもたこちゃん」をあしらった雑貨などの関連グッズを作った。29日に市内2カ所で初めて販売し、幅広い発信に乗り出す。(池葉須則夫)

## 企業と協業、グッズ制作 バッグや缶バッジ 披露あすお披露目

「しもたこちゃん」は2016年に当時の生徒による公募で誕生した。下津井特産のタコがモデルで、瀬戸大橋が描かれた鉢巻きを締め、学校近くにある遊園地の観覧車を模した王冠を頭に載せた地元愛たっぷりデザイン。これまでは、学校だよりに印刷するなど校内限定で活用されていた。

グッズの考案は、新型コロナウイルス禍で2年生が事業所で仕事を体験する「チャレンジワーク」が本年度中止となった代わりに企画した。学びだけでなく地域の活性化につなげようと、観光客にも手に取ってもらえるグッズを目指し、地域や保護者に資金面などの協力を依頼。地元メーカーとコラボした帆布製のトートバッグ、デニム製のペンケース、クリアファイル(3種)、缶バッジを完成させた。

それぞれのグッズには「しもたこちゃん」のイラストをプリント。読書や釣りなどのレジャーを楽しんだり、下津井にこにゃーおえん」といった岡山弁で来訪を呼びかけたり、愛らしい魅力を振りまいている。

29日は、むかし下津井回船問屋(午前9時〜午後4時半)とJR児島駅前で開かれる「ハロウィンマーケット」会場(午前11時〜午後5時)でお披露目し、生徒自身が販売。下津井のおすすめスポットや店を紹介する手作りの観光チラシも配る。山崎慎司さん(13)は「しもたこちゃん」が下津井を代表するキャラクターになるよう、多くの人に知ってもらいたい」と話している。

10月28日付山陽新聞、倉敷・総社圏版

Q1

しもたこちゃんは、生徒の公募で誕生したキャラクターで、地元愛あふれるデザインとなっています。どのようなデザインか、第2段落の言葉を使って答えましょう。

Q2

グッズを作った狙いは何でしょうか。見出し、第1、3段落を読み答えましょう。

Q3

グッズには、地元・下津井をPRする岡山弁が書かれています。第4段落から抜き出しましょう。

過去の問題は  
こちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。